

樽前山

○ B噴気孔群周辺の表面温度

2007年以降、表面温度分布から推定される放熱量は、僅かながら増加する傾向を示していたが、2009年末から増加率が加速したように見える。また、H噴気孔付近の温度異常も顕著になったように見え、これらは今年の傾斜変動を伴った微動と関連があるのかもしれない。

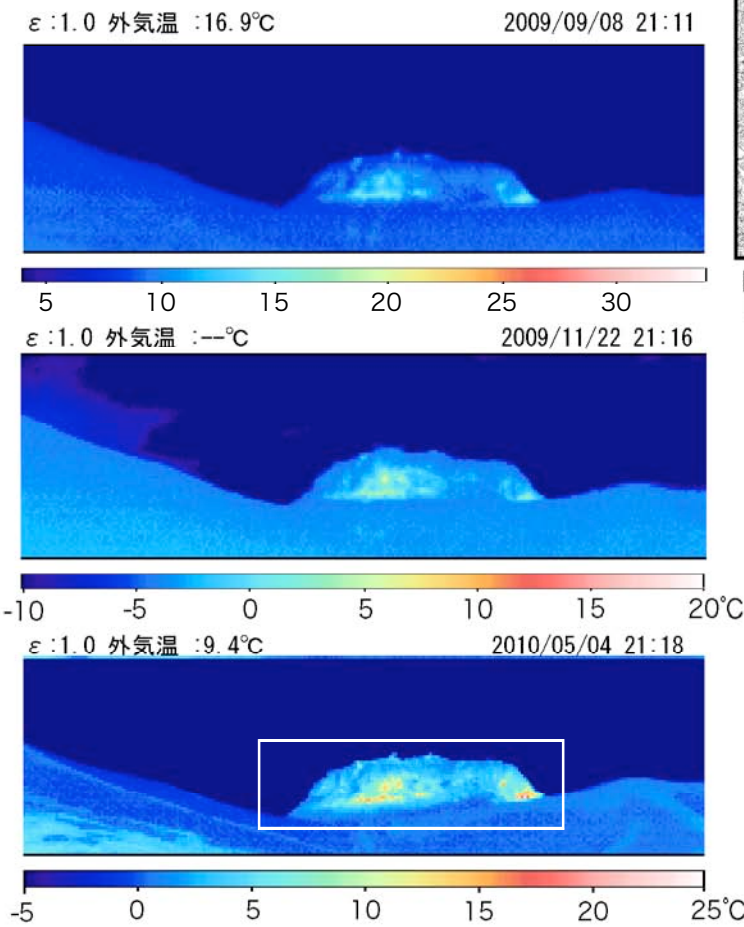


図2. B噴気孔群周辺の熱映像

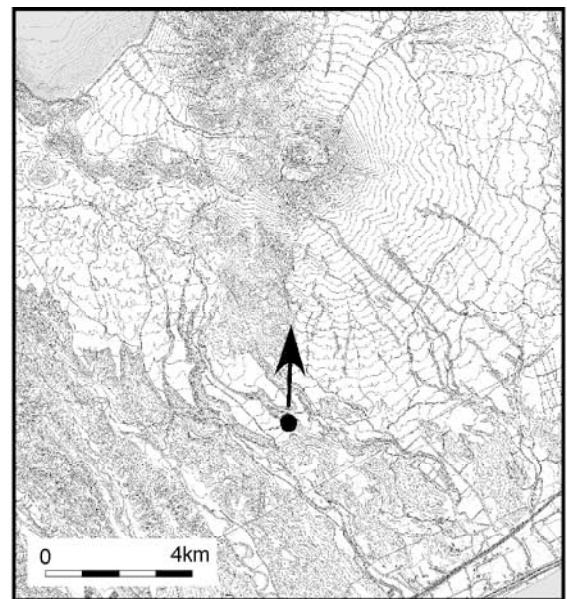


図1. 熱映像撮影地点位置図。撮影地点はドームの南方およそ7kmに位置する。

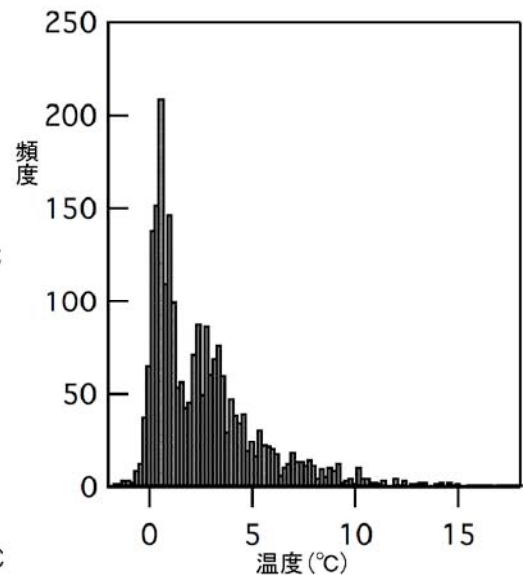


図3. B噴気孔群周辺の表面温度頻度分布(図2下段白枠内)

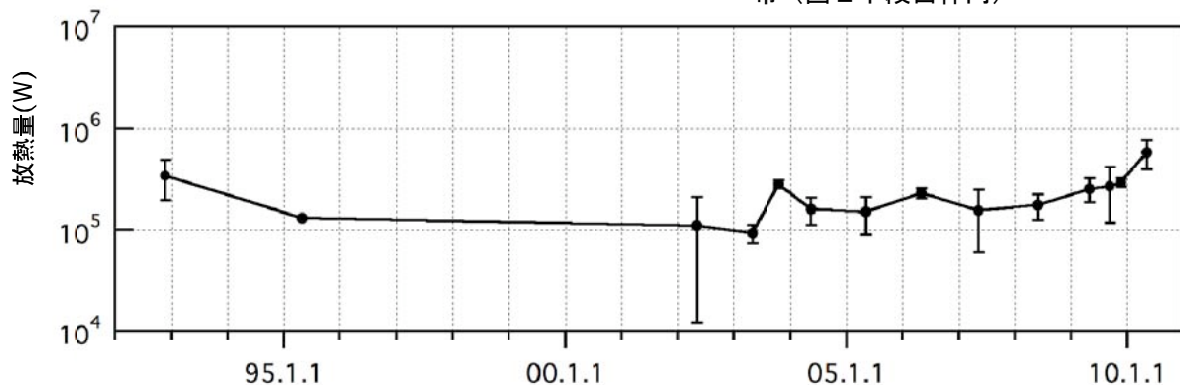


図3. 熱映像から推定したB噴気孔群からの放熱量の時間変化